

# ねん ぶつ 念 仏

## ■ 楽曲データ

歌詞：山本有希子 作詞

楽曲：森琢磨 作曲

発表：勤式・仏教音楽研究所 2003年

初演：—

初出：『秋の法要2004 御堂演奏会楽譜』 本願寺出版社 2004年

管理番号：M0816

## ■ 創作の経緯

「お念仏がわき出てくるような曲」をテーマに、委嘱・制作された。

## ■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第2巻収録

底資料：『讃歌集 二部合唱』第5巻 本願寺出版社 2009年

校訂の詳細：特記事項なし

## ■ 解説

### ◆ 曲について

仏さまは「我が名を称えてくれよ」とおっしゃいました。この歌は、その仏さまの親心に対する私たちの応答です。「なもあみだぶつとなえれば」にはじまり、お念仏へと続く歌詞の構成は、作曲者の森琢磨さんの発案だそうです。

### ◆ 歌い方

①全体的に音域は低いのですが、明るい声で歌いましょう。

②メロディーはゆるやかに上がり下がりします。その動きがごつごつしないように気をつけましょう。

③6小節目3拍目の「ラ」は特に低い音ですが、無理をせず、押しつぶした声にならないように歌いましょう。

④11小節目「きえ」の「K」の子音をきれいにしましょう。「なみにいえ」に聞こえないように。

⑤17小節目「むりょう」の語頭の「M」の子音を丁寧に発音しましょう。ただし、遅れないように。39小節目「むみょう」も同じように。

⑥19・49小節目は、きちんと1拍休みましょう。

⑦サビは、お念仏を繰り返すところです（22小節目4拍目～30小節、52小節目4拍目以降）。音域の低いところで、テンションまで下がってしまわないように。最後に向かって、気持ちを高めて歌いましょう。

⑧47・48小節目の「とわにつきせぬ」は言葉の切れ目に注意しましょう。

◆楽譜・音源

音源は、CD『日々のうた 念仏』に収録されています。

解説執筆：山口篤子（本願寺仏教音楽・儀礼研究所 [現・浄土真宗本願寺派総合研究所仏教音楽・儀礼研究室] 研究助手）

※本解説は、「メロディーの宝石箱」No. 63（仏教婦人会総連盟機関誌『めぐみ』第190号収録）を加筆・修正のうえ、転載。

Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.